



2025年10月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代表者の役職・氏名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 哲 也
(コード番号 9793 東証プライム・名証プレミア)
問 い 合 わ せ 先 常 務 執 行 役 員 企 画 管 理 本 部 長 片 瀬 秀 樹
(電話番号 052-611-6322)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能および実効性のより一層の向上に取り組むことが重要であると考えております。この一環として、取締役会の実効性に関する分析および評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 評価の方法

取締役会の実効性を評価するため、全ての取締役を対象に取締役会の運営状況（構成、運営体制、審議内容、自由意見）に関する項目の質問票を配布し、その集計結果について取締役会にて分析・評価および課題の共有を行いました。

【評価項目】

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 取締役会での議論について
- ④ 取締役会の運営について
- ⑤ 社外取締役との対話
- ⑥ ガバナンス体制・取締役会の実効性
- ⑦ その他取締役会にて議論すべきテーマ

2. 評価結果の概要

アンケートの結果、各項目とも概ね肯定的な評価であり、適切な議事運営の下、活発な議論がなされた上で審議が行われており、取締役会の実効性は概ね確保できていることを確認いたしました。

一方、次の3点を課題として認識し、引続き、改善を図る必要があるとの指摘がなされました。

- ① 翌年度の予算策定から予算決定までに至った重要なポイントについての説明を受け、その内容について十分な議論をする場を設けることについての検討。
- ② 重要な投資予定案件についての説明及びその決定の可否について取締役会にて十分な議論を行っているが、進捗状況についての把握も重要であるため、その説明を受ける場を設けることについての検討。
- ③ 「女性活躍・男女共同参画の重点方針」において、プライム企業の女性役員比率を2030年までに30%以上を目指す目標が盛り込まれたこともあり、社内での将来の女性取締役候補者養成の取り組みを強化し、取締役会の多様性を高めることについての検討。

3. 実効性向上に向けた課題

今回の実効性評価結果を踏まえ、抽出された課題、寄せられた意見については、改善に向けた検討、施策を推進し、取締役会の更なる実効性の向上に向け、継続的な取り組みを行ってまいります。

以 上